臺灣紙試関係

電報写

14
154

58

六月十日午前十一時二十五分着
長崎発局
東京蕃地事務局
有功丸ハ航海中損所
出来修理ニ五六日手間
取リ延ヒ漸ク今日出帆
柳原公使ハマダ上海ニ居ル
分捕物ハ米郵船便[illegible]
テ差出トス海軍省
ヘモ六千弗ト云フ高到
着可カラズ

一社寮丸ニ高砂丸ヱ
差出申候儀ニ付最
早此之時候ニ移リ
海上穏為ト臺湾
ノ都合ヲ顧ミ聊
不存ヲ延ヘタレ共社
寮丸大至急東京ヱ
出帆サセトノ電信承
諾セリ社寮丸到着
次第差出申候
六月十六日午後一時三十分発ス
長崎支局
台
東京本局ヘ

出

一平井ヲ我ニ遣ル
旨承諾セリ福島
ヨリ李仙ヲ遣
レトハ都督ノ願ヒナリ
本朝平穏ヨリ
我勢者ハ掛念
ハ要キシヤ支那ト
ダト宜キ評判ハ
十日ニ船ヨリ送
レリト西院ヘ電信
スベシ右ハ柳原使
ヨリ電信アリ

六月十五日午後六時廿分
五時四十分着

長崎支局

東京本局ヘ

生蕃凡リチクテイ
故トキトクニ本営ヲ
置ク牡丹モ降ル
色アル由ニテ日赤松
ヨリ呼ヒ厦門領事
上海到着我レニ
面謁不否柳原公使
ヨリ電信アリ

六月十八日午後三字五十分発
長崎支局

東京
事務局

只今猶龍丸手
用書蕃地出帆
長崎到着臺湾
生蕃モ総ルニ社望
丸湾ニ擒リ玉ニ

長崎到着臺湾
生蕃船ニ社寮
丸修覆ニ掛リシニ
釜大破損ニテ最早
航海出来ヌ事ニ決
シ今ヨリ五六ケ月修
覆ニ費ヤス可シ此
ノ次第ニテ船ニ差支
ユル故猶龍丸金
一度折リ返ヘセバ諸
物テ送ルニ都合ヨシ
右至急御返事ヲ乞
ヒ候

六月十六日午後四時出発
長崎事務局ゟ

東京
事務局へ

支那政府ヨリマツケン
シワテ送リモシユキメ　ふり難も
ブバグボユガラヨリゴラビ
十六日ノ船便ヨリ上海
へ差立テ之成リ事ト
考がへル如何や兼リ
タレマツケンハ既ニ帰ル　ふり難も
トイヘタモフヤケバグテヲ
答へ振リ我ヱ報告
毎キ故サテト電信
ニテ伺へトモイテニ返答
無シ頗ル不都合　ふり難も
カシラズ速ヤカニ委細
至急返事下さて
ト正院ト外務省ニ
告ケヨト柳原公使ヨリ
電信有リ
六月廿八日手紙二三日四十時出

十六日ノ船便ヨリ上海
ヘ差立テニ成リ事ト
考ガヘル如何ヤ兼リ
タレマワケニハ既ニ帰ル
トイヘタモフヤケバグテヲ
答ヘ振リ我エ報告
無キ故サテト電信
ニテ伺ヘトモイテニ返答
無之頗ル不都合
カシラズ速ヤカニ委曲
至急ニ返事ニテ
ト正院ト外務省ニ
告ケヨト柳原公使ヨリ
電信有リ

六月廿日午後三時四十分発
長崎支局ヨリ
東京本局へ

赤松少将福島
領事ト君トノ両説
ニ何モ緊要ナル廉
無シ我潘霨ヨリ
返翰ヲ致候常秩
後北京ニ發遣スル
由其事ハ支那政府
エ上申スル條シ事務局
ト潘霨トノ間ノ評議
少シク大徹論有リ委細
ハ追テ報知ス其ハ済方
事氏熟急ニ成否發表
右柳原公使ヘ電信
有リ

七月九日午後四時十五分發

長崎支局ヘ

東京本局ヘ

米國郵船ヨリ近日
横濱エ到着ス可シ帆

ヲミク仏諭旨リ委細
ハ追テ報知ス其儀ハ方
事氏急ニ上廣島發表
右御承公使ヘ電信
有リ
七月九日午後四時五十五分發
長崎支局ヘ
東京本局、
米國郵船ヨリ近日
横濱エ到着ス可シ帆
船ハマダ到着セズ
七月十三日午後三時廿分發
長崎支局ヘ
東京本局、
カリ大倉喜八郎ハ當
局ノ統轄ニテ陸軍
医出張ノ者日用弁
而已長崎ニ諸物件業
品東京宜シ病人役
撫リ者附ケ置リ業ノ
事都テ當局ニテ扱
フ管右ニテ雖キヤ此ノ
ヲリ難し
至節者ハジロシモカリ

横濱エ到着ス可シ帆
船ハマダ到着セズ
七月十二日午后三時廿分発

長崎支局ゟ

東京本局ヘ

カリ大金長八郎ハ當
局ノ統轄ニテ陸軍
医出張ノ者日用弁
而已長崎ニ詰物件業
品東京宜シ病人役
掛リ者附ケ置リ等ノ
事都テ當局ニテ扱
フ筈右ニテ難キヤ氏ノ
星野照吉ハグロンジカリ
星野照吉トシヨリ申シ。能
キヤ至急返事
七月九日午后三時四十五分発

長崎支局ゟ

東京本局ヘ

大倉喜八郎ヘ決算廿七年米代ヲ
拂ヘトノ電信ノ趣大倉喜八郎ハ申
渡セシニ右一條ハ事務局ヘ諮詢致シ
置キタレハ其採用否ヲ代銀ヲ相
ヨトノ事ナレハ物品買却ノ上納ムル
カ亦タ東京本店ニ而事務局、
相ムル共何レニモ諮詢ノ趣御指令
ノ有ル迄猶豫願イ出テ笠野熊吉
借ク米買入レ代銀渡シ方ヲ願フ
然ルヲ本日海軍省ヲ波代
六千弗返却有リ右ヘ有金ヲ
足シ笠野熊吉ヘ拂フテハ如何
カヨ急返事ナカレて
七月廿五日午後二時廿五分着ス
長崎支店ヨリ

東京本店

柳原公使北京ハ往キシ見込ナリ
前ナリ 八九ヨリ柳原公使ヘ差出申度
書籍ノ事近日上京委細申上
候
七月廿五日午後五時十分着ス
長崎
東店御中

當地支店、
御号ヨ十三日申シ越シ承諾
本件急ツカヌ由都督ヘ申越シ置
大概ノ分ハ長崎ニテ買入置ク又ヘ
又故越中島ノ材木ハ買却シテ
宜ロシ

當地ノ形勢右ノ如シ、
弐号ハ十三日申越シ承諾
木材急ギカヌ由都督ヘ申越シ置
大概ノ所ハ長崎ニテ買入置クヘ
又故越中島ノ材木ハ買却シテ
宜ロシ
七月十六日午後四時五十分着ス
東京本局、
長崎支局ゟ

猶龍丸十七日台湾出帆ニテ
到着死體三ツアリ未タ上ラス其
ノ他変ル事無シ
七月十八日午後四時五十分着ス
長崎支局ゟ
東京本局、

田辺様山長崎ヘ昨日着ス
東京ノ事一承諾セリ私ニハ
十四日ノ郵船ニテ上京委細上申ス
七月十八日午後六時四十五分着ス
長崎
東京ニテ佐々ゟ

大隈長官殿、
谷少将東京出帆セシヤ至急
返事アリタシ明光丸明日出帆
丸明後日出帆スル筈高砂丸
ハ十九日頃出帆且又エミノコトワ
丸台湾ヘ遣ワシ候も如何至急
此返事アリタシ
七月十九日午前十時廿分着ス
長崎支局ゟ
東京本局、

過励

長崎

類ハ

中唯

此ハ

七月

蓄

右ハ書

中

過刻御廻達申候
長崎第四百四號ノ電
報ハ廿四日之發信ニ
而唯今長崎ゟ申来
候ニ付申進候也

七月廿六日　築地局

蕃地事務局
　御中

右ハ書換ニ相成候間
申進候也

築地電信局

築地電信局印

右之通只今
長崎表ゟ電
報ニ而申付不取敢
謄写進上申候也
七月九日午書
[illegible]ゟ
宿直
大隈長官公
閣下

台湾エ兵隊運送大至急
出帆中ナルヤ、若シ戦ニ
及ビ支那内地エ進軍ト混
ジテハ運送都合宜シカラズ
如何ナル手段取計ニテ可然哉

大隈長官殿

佐久間参謀
赤松参軍

高砂丸台湾ヘ出帆追テ電信
差出申置通リ差支エ甚多
多シ金川丸台湾天津ヘ
帆用意二十日ニマテニ満山故
十三番大隊金川丸ニテ台湾
エ運送如何用意ナレバ大至
急電信陸軍ハ肥後鎮台
エ此下命出来可申候ニテ運
送ハ都合有之故至急
返事可有之残リシ大隊ト砲
兵ハ跡ヨリ高砂丸ニテ運送
スレハ彼是都合宜可有
如何ナル手段取計ニテ可然哉

大隈長官殿

林大佐
赤松少将

金川丸ハ野津大佐該地ニ向テ
ト西ケノ通リ二十二番大隊ヲ
廿三日比乗セ且ツ龍驤孟春
等ノ兵粮ヲ積ミ台湾エ向ケ
出帆スル事ニ決シ右砲丸ハ東海
丸送リノ兵隊ヲ乗セ台湾エ
出帆スル筈又タ都督ヘ申越
ス大至急 ヨヲノタコロワリノルイモ
右砲丸ニ右筈故東海丸
ヲ聖ママ台湾エ出帆セル士ヲ
右砲丸ヲ東京エ回ス可シ左
ナケレハ現実験ト差支エ至急
返事ニアリ
九月十日午後四時五十分発ス
大隈長官殿
林 楮山
支那抗低我公使ニ謁見ヲ
許サズト云フ海軍ノ所出
右ノ信ニ以テ今不可順事
如何敢テ大砲ハ北京
ナル可シ
九月十日午後五時五十分発
大隈長官殿
林 楮山

丸送リノ兵隊ヲ矢張台湾エ
出帆スル筈又タ都督ゟ申越
ス大至急ヨヲイタコロリノルイモ（分リ難シ）
高砂丸ニ而返ル筈故東海丸
ヲ其ママ台湾エ出帆サセルナラ
高砂丸ヲ東京エ回ス可シ左
ナケレハ現実難ト差支エ至急
御返事一ト先ニ願フ
九月十日午後四時五十分発
大隈長官殿
横山
林

支那抗抵我公使ニ謁見ヲ
許サズト云フ海軍ノ取消
有リ右伝信ニ付今両領事
かへる段萬一ノ為メ大砲ハ北京
ナル可シ
九月十日午後五時五十五分発
大隈長官殿
横山
林

金川丸エゴリヲキヲタテタラバ今
般ゴフリタノ航海コヲミヨヲヨ
ミヨチセズ海外行不都合ナ
ル可キ故矢張高砂丸陶様ゴ
リヲキヲヲヘシニタテサスルカタ
都合宜ト存ス至急御返事
一ト先ニ願フ
九月十日午後四時五十五分発
東京本局
此中
長崎支局ゟ

北京分使ノ者到来
大久保弁理大臣十四日ニ
支那政府ト談判有リ
支那政府別答ヘ振リ
予ニ智ル事謁帝ハ
極マラズ書翰モ到来
次便ニ送ル右伝信ハ
今晩川瀬ヨリ分発
来候
九月廿四日午後九時発ス
大隈長官殿
林 権山

言存九台湾人ニ到
着セバ必ラス懸タ・シテ
病人運送所ニ依テ病
院漸リ九十人ヲ入ル・
耳方今寺院ヲ配セ
シニ達具釋モ無シ波
是苦情共ナカラス迚モ
此ノ向キ寺院ニテハ治スコス
幸ヒ当地文部省病
院有リ実ニ有名無実
ニテ病人此ノ節七八人
タマタマ病人ヲ依頼スルニ
僅カニ二十人以内引請ル
而モ故ニ断然事務局
ヘ当今引請ケタキ儀
ル時ハ大ヒナル御用ナス
政府ヨリ文部省ヘ達下
命セ取斗テモラフ也
当時二三名有ル医師
其他モ他西洋人ト語
務搦リ官員ハ皆除キ

院湖仍九十人ヲ入ル・
耳方今寺院ヲ砌セ
シニ達具鐸無シ彼
是苦情共ナカラス迚モ
其ノ向寺院ニテハ満コス
幸ヒ當地文部省病
院有リ實ニ有名無實
ニテ病人共ノ節ハ七八人
タマタマ病人ヲ依頼スルニ
僅カニ二十人以内引請ル
而已故ニ断然東校
エ當分引請ケタモ然
ル時ハ大ヒナル御用弁ス
政府ヨリ文部省エ御下
命モ取斗テモ可尤
當時ニ三名有ル醫師
其余ハ他西洋人ト諸
務掛リ官員ハ皆除キ
タシ大至急モ取計ヒ可トモ
九日或今後三時中ニ出發
大隈長官殿　横山
林

ルウヴン書類無之ト申
越シ[illegible]共米国郵船会
社エ問合セシニ右ウリ之ヨリ
郵便ト差出申候間横浜
税関ヘハ米国郵船会社
ヨリ穿鑿方相頼度シト申シ
出ツ

十月廿三日午後十時廿五分発

大隈大臣殿

林 枝山

シ
発シ出来ル旨申シ出ツ

十月廿三日午後十時発

大隈大臣殿

林 枝山

豊川丸兵糧運送ノ為
メ今夕天津ヱ出帆ス
十月十四日午後十時廿五分発
大隈七四郎殿
林
横山

七ヲ士官トヲ右大砲兵ニ当
ノ人員長崎ヱ七日ヨリ拔ヲ立テ
十月十三日午後十一時二十分発
大隈七安殿
林
横山

長崎ノ三ツ井理武兵衛五千円
小野組五兵衛四トツ五千都合
ニ預ケ出来ル旨申シ出ツ
十月十三日午後十時発
大隈七安殿
林
横山

當役大砲兵ホ名差出申し
下ヶ中候ハ近頃ニ砂丸ヲ以
テタイサン大砲兵大隊モヲ外ル
メ都テ病人ニテ引揚ル故砲
庫下士官而已ニ而出シ二ニテモ
物ノ用ヲ成ザシル故大至急隊
モヲ士官トヲ右大砲兵ニ御當
ノ人員長崎ヨリ御職ニ而モて
十月廿日午後十一時二十分発
林
梧山
大隈長官殿

長崎ノ三ツ井理武第五千円
小野組五第円トリ五千都合
シ金出来ル旨申出ツ
十月廿日午後十一時発
林
梧山
大隈長官殿

本月四日君ノ電信
致落手候（北京ノ談判未決故我）北京ニ往ク
為メ日進艦ヨリ十四日
厦門到着ス台湾事
務ハ右談判ヲ待タス
内地ノ手配リ夫レゝゝ
用意有ルヘシト右傳
信只今厦門谷少将
ヨリ致落手候

十月廿九日午後四時発ス

大隈長官殿　横山権助

大隈長官　林

我昨日飛脚ヲ以テ神戸ヨリ
電信ヲ以テ事務局厦門
イツソヲ用意成平ニテ
吉林大佐ヘ依頼セシ處上
海幸ヒ長崎到着セシ由
ニテ右依頼林ヨリ我借リ
受ケル事電信ニテ申シ上
ケシ由就テハ差向キ欠ベカ
サル事有リ氏ノ瓊浦丸
暫時我借用ス承知乞
アヒシ來

十一月二日午前十一時発
長崎午后五時着
東京
大隈長官殿 河村海軍中将

東 河村海軍大輔 口今

長崎 到着
十一月二日午後五時三十分
大隈長官殿 林

林

平川停吉書翰本日出帆
米国郵船ヨリ差出シ申候
十一月十七日午後三時五十分発
大隈長官宛
林 楊山

北京廟議ニ決シ支那政府
ヨリ償金五拾萬テール
ヲ出ス本月三日総理大臣
天津出立シ廈門台湾
ヘ行ク我今般上海ヘ到
着ス我民ノ後ノ方向如
何ノ報承大至急申越ニの
よって 河村海軍大輔宛右信
信ハ上海ノ松村ヨリ発ス
手形
十一月十七日午後十時四十五分発
大隈長官宛
林 楊山

米郵船十日午後十一時東京へ
出帆昨日午後四時上海ヘ出帆
シタリ
十二月十二日午後四時廿分発
東京西局 午前 大勝寺
二万円御廻シ置キ相成候ニ付
壱万五千円借リ受ケ既ニ出
払ヒタリ氏ノ節ノ金廉ヘ
別ニ以テ三万円大至急電
信為替ヲ以テ差越ス可シ
十二月十二日午後三時廿分発
東京西局 午前 大勝寺
東艦九ノ事御心配セリ社
審九修理未タ済マス
猶予ニ日ヨリ見カラ帰掃除
ニテ相経過難義久シク西典
為メ東京即日御返答
十七日ヨリ又カ大至急返信
返信可為
十二月十二日午後三時廿分発
東京西局 午前 大勝寺
東京九到着セリ其筋
九ハイツテモ出帆差支無シ

十二月十一日午後四時卅五分発
東京西郷 中帥
大臣 参議

○ 二萬円銀並紙幣ニテ五十分
十萬円借リ受ケ既ニ出
払ヒタリ此ノ節ノ金ニ窮ス
別ニ三十三萬円大至急電
信為替ニテ御差越可有之

十二月十二日午後五時卅分発
東京西郷 中帥
大臣 参議

○ 第鳥丸ノ事修繕セリ社
寮丸修理未タ済コスヘ
務ム十日ノ見カニテ跡掃除
ニテ修理難雑事久所要
嘉手東京御用海軍省
十七隻ヲスカ大至急此旨傳
達一ヲ為シ

十二月十二日午後三時廿分発
東京西郷 中帥
大臣 参議

○ 東京丸到着セリ長崎
丸ハイツテモ出帆差支無之
御申何如ノ電信ヲ請フ
準備セラル至急此段申上候
可申上

十二月十二日午後七時卅五分発
東京西郷 中帥
大臣 参議

昨夜小野組ヨリ
六千円ヲ請ヶ取リ
外ニ有ル金壱万円
借リ入レ取斗ヒ申候
本日米国郵船出帆
付テ生絲差出

十月廿五日午前十時廿分発　中東

本局御中　長崎支局

高砂丸機械損所
有リ二十七日程運轉
出来ス依テ全軍去
時到着次第高砂丸
ニテ到着セシ第一大隊
ヲ小倉ヘ運送ニ決シ
ト都督ト談シ有リ可否
至急御返事アレ
十二月九日午後十二時廿五分発
大隈長官殿　林　揖斐

山口県ノ金ヲ借
小生都督ヱ至急
御遣可被下候
十二月十五日夜 [illegible]
大隈参議殿
横山
林

勅使ト東今コンギヨウ
四時高砂丸ニテ臺灣ニ
出帆スブロウン英國公使
ヨリ英国領事ニ臺灣
ニ往クヲ禁セヨト申越
セシ旨ニテ領事ヨリ言
イ渡シ且ツ御廟(評)議モ
有ル故船ノ一便ハ長崎
ニ止マル船ニ伊東二郎
今ヨリ都合次第早ク
東京ニ帰レト電信
有リタリト向人申出ツ
右ハ如何ニシテ聞キヤ
急速返事[illegible]
六月廿日午後三時四十五分発
長崎支局
東京本局
長崎ニ有ル諸物高砂
丸積ミ悉皆積入
タリ東京ノ桟木未タ

東京ニ帰レト電信
有リタリト同人申出ツ
右ハ如何ニシテ然ルキヤ至
急御返事ニ及ヒ候也
六月廿四日午後三時四十五分発
長崎支局分
東京本局へ
長崎ニ有ル諸物不売払
丸程龍エ悉皆積込
タリ東京ノ材木未タ
到着セズ帆前船故イツ
到着スルヤ当テニナラズ又
昨日九右印丸ノ内東
京エ向ケ差出申候ハ
如何致モ壱艘ハ帆マイ
合来ル材木ヲ待ツ至急
御返事ニ及ヒ候也
六月廿四日午後三時四十五分発
長崎支局分
東京本局へ
李仙得ノ到着ノ為メ
我等日進艦ニテ此ニ
滞在ス チニハウチ一艘 雖タ明シ
ク臺湾ノコヲニテガゴケツ
シカシ無為無厦門ヨリ
米国領事ニ度ヨリ

至急[illegible]二十六又
明光丸有功丸ノ内東
京ヘ向ケ差出申スヘキハ
如何敷モ右艘ハ帆マイ
合来ル材木ヲ待ツ至急
出返事ヲ乞フ

六月廿日午後三時四十五分発ス
長崎支局ヨリ
東京本局ヘ

李仙得ノ到着ノ為メ
我等日進艦ニテ此ニ
滞在ス チニハ以チニ艘（雖分明シ）
ク臺湾ノコヲニテガゴケツ
シカシ無爲無厦門ヨリ
米國領事ノニ彼ヨリ
其代理（中人）ヲ乞ケレ共ド
領事ハ米國ノ辭議
ニ於テイナミタリ右上海
ノ赤松福島ヘ電信アリ

六月廿日午後三時四十五分発ス
長崎支局ヨリ
東京本局ヘ